

弘中・弘高一休会70周年記念講演会

演 題

冷戦崩壊の余震強まる2014年と 今後の米・中・日関係

講 師：坂本 正弘 氏

(日本国際フォーラム上席研究員・総合政策博士)

冷戦崩壊の余震に始まった今日の激動の国際情勢について分析。

特に中国問題を深く掘り下げて解り易く解説し、

今後の米中・日米・日中関係の重要性を説く。

そして今後、日本の進むべき路は……。

と き

平成26年11月19日(水) PM 4:00~PM 5:30
(受付 PM 3:30より)

と ころ

弘前パークホテル 4階ラメーラ
(弘前市土手町126 Tel 0172-34-0249)

主 催

弘中・弘高一休会70周年記念実行委員会 代表 鳴海康安
弘前市栄町1-2-6 康安外科内科医院内
Tel 0172-33-6262・Fax 0172-35-0638

※70周年記念の感謝の意をこめて一般公開講演とさせていただきます。
聴講無料です。一般市民の皆様のご参加を歓迎いたします。

A. 坂本正弘氏略歴

- ・ 弘前市出身、県立弘前中学、旧制弘前高等学校、東大教養学部教養学科卒業
- ・ 元経済企画庁経済企画審議官、元中央大学総合政策学部教授(国際関係論担当)
- ・ 現在、日本国際フォーラム上席研究員、参与
- ・ 学位、中央大学総合政策博士
- ・ 現在、東京都港区南麻布に在住

《主著》

- ・ 『パックス・アメリカナの国際システム－パックス・ブリタニカとの比較において』
有斐閣、1986年 総合開発研究機構第3回東畑賞受賞
- ・ 『中国・分裂と膨脹の3000年』東洋経済新報社、1999年
- ・ 『パックス・アメリカナと日本』中央大学出版部、2001年

《主要論文》

- 「米軍再編と日米同盟」時事通信社『世界週報』 05年7月5日号
- 「対中外交への政策提言」時事通信社『世界週報』 05年10月11日号
- 「金融危機後の世界の政治・経済」世界経済研究協会『世界経済評論』 09年11・12月
- 「21世紀・中国の急激な台頭と世界への衝撃」外国為替貿易研究会『国際金融』 11年1月
- 「財政赤字制約下の米中経済・軍事バランス」外国為替貿易研究会『国際金融』 11年11月
- 「世界の発火点・尖閣・日中摩擦」インテリジェンスレポート 13年7月
- 「米中は特別な2国関係か？北京会議に出席して」インテリジェンスレポート 13年12月
- 「世界の激動－ウクライナ情勢と米中関係」インテリジェンスレポート 14年6月
- 「世界金融危機とドル本位制」外国為替貿易研究会『国際金融』 14年8月

《その他国際関係論文多数》

B. 日本国際フォーラムの概要

1. 政府から独立の民間・非営利の日本第一級のシンクタンク。
 - ・ 外交・国際問題に関する総合的な研究を行い、政策提言を実施。
2. 1987年設立、初代会長大来佐武朗氏。
 - ・ 現在、会長今井敬(元新日鉄会長)。理事長伊藤憲一。
 - ・ 理事、評議員、顧問、参与及び政策委員には、政、官、学、産業界から多数の影響力の強い識者が参加。
3. 1988年以来、37の政策提言を実施。政策提言を内閣総理大臣に報告し、一般に公開。
最近の提言を以下に列挙。
 - 「グローバル・テロと日本の対応」起草委員・山内昌之東大教授、2011年1月
 - 「膨脹する中国と日本の対応」政策委員長・伊藤憲一、2012年1月
 - 「積極的平和主義と日本の針路」政策委員長・伊藤憲一、2014年8月